



第3回学術年会プログラム

2会場において別々のセッションが並行する時間帯がありますので、ご注意ください。

(敬称略)

1日目 2012年2月17日(金曜日)

12:00～ 開会 <弥生講堂>

開会挨拶 第3回学術年会会長 葛西 智恵子 (アステラス製薬株式会社)
ロゴマーク紹介 安全性薬理研究会会長 山本 恵司 (武田薬品工業株式会社)

12:10～ 教育講演 I 「中枢神経系シナプスのタンパク分子と生理機能」 <弥生講堂>

関野 祐子 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)
座長: 葛西 智恵子 (アステラス製薬株式会社)

(13:10～ 休憩)

13:30～ シンポジウム 「安全性薬理試験への新しいアプローチ: イメージングによる評価系」

<弥生講堂>

座長: 千葉 克芳 (第一三共株式会社)
葛西 智恵子 (アステラス製薬株式会社)

「PET イメージングの基礎と薬理・安全性試験への応用に向けて」

西村 伸太郎 (アステラス製薬株式会社バイオイメージング研究所)

「心エコー図法を用いた心機能評価: Why, What and How?」

増山 理 (兵庫医科大学内科学循環器内科)

「新しい神経毒性試験系確立の試み」

五嶋 良郎 (横浜市立大学大学院医学研究科分子薬理神経生物学)

(15:00～ 休憩)

13:30～ シンポジウム 「中枢神経系」 <セイホクギャラリー>

座長: 安東 賢太郎 (東京大学大学院/三菱化学メディエンス株式会社)
金納 明宏 (株式会社薬物安全性試験センター)

「神経精神医学研究における行動薬理学的評価法の有用性」

武田 弘志 (国際医療福祉大学薬学部薬理学分野)

「薬物依存の行動薬理学的評価: κ 受容体作動薬」

鈴木 勉 (星薬科大学薬学部薬品毒性学教室)

「薬剤性嘔吐の非臨床予測」

福井 英夫 (武田薬品工業株式会社 薬剤安全性研究所)

(15:00～ 休憩)



15:20～ 一般演題Ⅰ <弥生講堂>

座長：北山 哲也（協和発酵キリン株式会社）

O-1 カニクイザル心筋における薬剤誘発性不整脈の性差に関する検討

松尾 純子（株式会社新日本科学 安全性研究所）

O-2 カニクイザルにおける塩化カリウム静脈内投与による心電図変化

持留 隆伸（株式会社新日本科学 安全性研究所）

O-3 ハロセン麻酔ウサギを用いた心房細動治療薬の心臓に対する安全性薬理評価法に関する検討

米山 史陽（東邦大学薬学部薬物治療学研究室）

O-4 Oseltamivir の電気薬理学的作用：In vivo モデル動物での評価

中村 裕二（東邦大学医学部薬理学講座）

（16:20～ 休憩）

15:20～ 一般演題Ⅱ <セイホクギャラリー>

座長：林 誠治（日本新薬株式会社）

O-5 Cardiac Ion Channels in Drug Safety Screening: From Ion Channel Cell Lines to iPS Driven Cardiomyocytes

Mitsuyoshi Saito (Ion Chat Research Corp.)

O-6 Electrophysiological properties of iCell Cardiomyocytes® obtained by automated patch clamp on the Qpatch

Rikke Schrøder (Sophion Bioscience A/S)

O-7 KCNQ1 及び KCNE1 発現 CHO 細胞におけるプロブコールの長時間曝露による緩徐活性型遅延整流性カリウム電流 (IKs) の減少

谷口 智彦（エーザイ株式会社 BA 機能ユニット グローバル CV 評価研究部）

O-8 Nav1.5 及び Cav1.2 チャネル阻害特性の解析による心循環系副作用リスク評価の有用性

本多 正樹（中外製薬株式会社 安全性研究部）

（16:20～ 休憩）

16:40～ 海外招待講演 <弥生講堂>

座長：山本 恵司（武田薬品工業株式会社）

澤田 光平（エーザイ株式会社）

「Cardiovascular Function in Nonclinical Drug Safety Assessment: Current Issues and Opportunities」

Dustan Sarazan, D.V.M., Ph.D. (Data Science International)

「Update on the Safety Pharmacology Society Activities and Opportunities for Interaction」

Mary Jeanne Kallman, Ph.D. (President of Safety Pharmacology Society 2012)

18:20～ 懇親会 <山上会館>



2日目 2012年2月18日(土曜日)

8:40～ 「心血管系の副作用」 <弥生講堂>

座長：豊島 茂樹 (株式会社大塚製薬工場)

稲村 直樹 (田辺三菱製薬株式会社)

教育講演Ⅱ 「ポストQTを考える：Na⁺およびCa²⁺チャネル阻害作用の基礎」

杉山 篤 (東邦大学医学部薬理学講座)

「心血管系の副作用とそのメカニズム」

山本 恵司 (武田薬品工業株式会社 薬剤安全性研究所)

(10:00～ 休憩)

10:20～ 一般演題Ⅲ <弥生講堂>

座長：田澁 弘行 (大日本住友製薬株式会社)

O-9 動き検出とMEA測定によるiPS細胞由来心筋細胞の拍動挙動と細胞外電位の同時評価

早川 智広 (ソニー株式会社)

O-10 Evaluation of QA interval as an index of contractility in anesthetized intact guinea pigs

Yukie Ueyama (QTest Labs)

O-11 イヌおよびサルを用いた心臓超音波検査法による左室収縮能と拡張能の評価

中根 史行 (株式会社シミックバイオリサーチセンター 安全性薬理試験部)

10:20～ 一般演題Ⅳ <セイホクギャラリー>

座長：桑野 康一 (株式会社新日本科学)

O-12 パイカ行動自動解析装置 (FDM700S) によるシスプラチン誘発急性/遅発性嘔吐の解析

山本 浩一 (大阪大院・医・保健・薬理学)

O-13 マウス自発性痙攣発作試験における痙攣の評価

只野 清史 (アステラス製薬株式会社 安全性研究所)

O-14 ゼブラフィッシュを用いた新しい安全性薬理試験の開発

西村 有平 (三重大学大学院医学系研究科薬理ゲノミクス)

11:30～ ランチョンセミナー

ランチョンⅠ <セイホクギャラリー>

主催：Sophion Bioscience A/S

「Newly-introduced functions of QPatch, current clamp recording and more」

Morten Sunesen, PhD (Sophion Bioscience A/S)

「Non-canonical hERG blockers and mitigation strategies」

Gul Erdemli (Novartis Institutes for Biomedical Research)



ランチョンII <農学部1号館2階>

主催：プライムテック株式会社

「テレメトリー法による覚醒動物における心収縮能の評価」

座長：局 博一（東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻）

「小動物を用いた評価系」

北山 哲也（協和発酵キリン株式会社 安全性研究所）

「カニクイザルを用いた評価系」

山中 洋泉（三菱化学メディエンス株式会社 創薬支援事業本部 試験研究センター）

12:30～ ポスターセッション <弥生講堂ロビー・会議室>

(13:10～ 休憩)

13:30～ パネルディスカッション「抗がん剤・高分子薬の安全性薬理試験」 <弥生講堂>

座長：山本 恵司（武田薬品工業株式会社）

北山 哲也（協和発酵キリン株式会社）

「抗がん剤の安全性薬理」

石田 三智子（医薬品医療機器総合機構新薬審査第五部）

「抗体薬・ワクチンの安全性薬理」

松本 峰男（医薬品医療機器総合機構生物系審査第二部）

「パネルディスカッション」

(15:00～ 休憩)

13:30～ 「創薬スクリーニング評価の新しいアプローチ」 <セイホクギャラリー>

座長：澤田 光平（エーザイ株式会社）

田保 充康（中外製薬株式会社）

「イオンチャンネル阻害回避：in silico からのアプローチ」

池森 恵（エーザイ株式会社）

「hERG trafficking 阻害スクリーニングの今後の展望」

坂倉 智子（第一三共株式会社 安全性研究所）

「In vivo による創薬段階の循環器リスク評価」

小松 竜一（中外製薬株式会社 安全性研究部）

(15:00～ 休憩)



15:20～ シンポジウム「医薬品開発の副作用リスク」 <弥生講堂>

座長：安東 賢太郎（東京大学大学院／三菱化学メディエンス株式会社）

千葉 克芳（第一三共株式会社）

「ICH E14 ガイドラインの日本での実施状況と今後の展望について」

品川 香（医薬品医療機器総合機構新薬審査第二部）

「E4031 の臨床試験：ヒトにおける QT 間隔延長作用」

澤田 光平（エーザイ株式会社 グローバル CV 評価研究部）

「性差に基づく薬物療法は行われているか？」

上野 光一（千葉大大学院高齢者薬剤学研究室）

17:00～ 閉会 <弥生講堂>

閉会挨拶 第4回学術年会会長 千葉 克芳（第一三共株式会社）

以上